

4 安全・安心・信頼の学校づくり

(1) 地域と共にある学校づくり

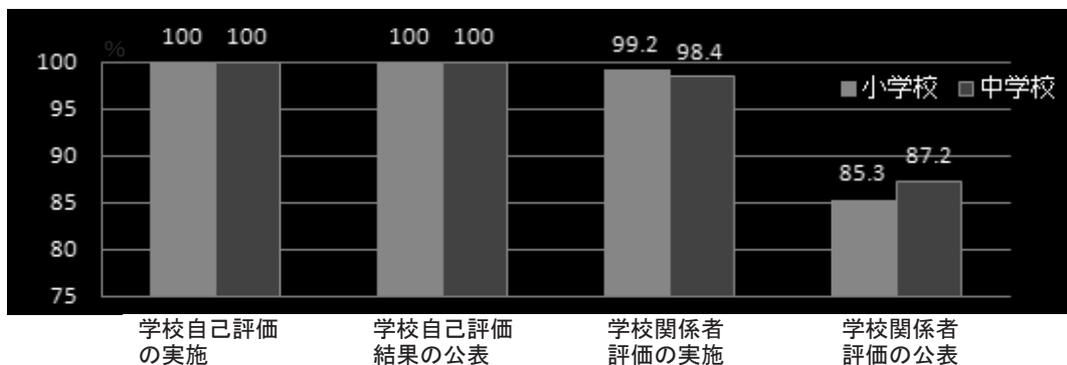
現状と課題

- 学校教育に対する県民のニーズが多様化・高度化する中で、教員全員が業務の優先性や効率性等のマネジメントの意識を持ち学校づくりを進める必要があります。特に、中堅層の教員におけるマネジメント意識の醸成や能力の育成を図る必要があります。
- 学校評価の自己評価は 100%実施、学校関係者評価も多く各学校で実施されていますが、評価結果の公表方法や評価結果に基づく学校運営の改善に課題があります。
- 子どもたちが実社会で自立する上では、多様な教育機会の提供や郷土愛の育成が必要ですが、地域と学校の連携が単発的な行事やイベントに留まっている場合が多い状況です。
- 学校においては、外部との連携方針を具体的に示し、必要な情報は保護者や地域への開示を徹底するとともに、県においても地域のニーズに応じた教育活動が行われるよう支援を行っていく必要があります。



読み聞かせ

図4-(1)-① 学校評価の実施状況 (平成24年度)



教学指導課「学校経営概要のまとめ—小・中学校編」

第1次計画の成果と課題

- 小・中・高等学校の保護者が自分の子どもが喜んで学校に通っていると回答する割合を指標として設定しており、目標値に達しない状況となっています。県内での不登校児童生徒の在籍比率が高いことや小中学校の学力の課題等から保護者の意識やニーズも変化しており、それらに対応した教育内容が求められていると考えられます。

【第1次計画 目標達成見込】

達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
学校に対する満足度 (小・中・高)	93.0%	91.2%	数値の把握不能

成果目標

- 学校と家庭・地域とのコミュニケーションが積極的に行われ、保護者や地域からの信頼度が向上するようにします。
- 学校・家庭・地域による連携の仕組みによる地域と共にある学校づくりが行われるようにします。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒の割合	小学校 90.4% 中学校 85.7% (平成23年度)	小学校 92.0% 中学校 90.0%	教学指導課「学校経営概要のまとめ—小・中学校編」
「子どもは喜んで学校に行っている」と答える保護者の割合	91.0% (平成23年度)	93.0%	教学指導課「学校経営概要のまとめ—小・中学校編」
保護者・地域による学校支援や学校運営参画の仕組みができている小・中学校(信州型コミュニティスクール)の割合	21.0% (平成24年度)	100%	文化財・生涯学習課調べ
学校関係者評価の結果を公表している学校数の割合	小学校 85.3% 中学校 87.2% (平成24年度)	小学校 100% 中学校 100%	教学指導課「学校経営概要のまとめ—小・中学校編」

主な施策の展開

地域と共にある学校づくりを推進するために、次のような取組を進めます。

① 学校運営のマネジメント力向上

- 教育課題を解決するために、地域・家庭と連携することの大切さについて理解を深める教員研修を実施します。【教学指導課、文化財・生涯学習課】
- 中堅層の教員への学校運営に関わる研修の実施や学校内での体制づくり等により学校運営のマネジメント力の向上を図ります。【義務教育課、高校教育課、教学指導課】

② 地域に開かれた学校づくり

- 保護者、地域住民が学校との連携を図りながら、子どもたちへの持続的な支援活動を実施し、教職員や児童生徒と共に学校運営へ参画できる仕組み(信州型コミュニティスクール)を検討し、その普及を推進します。【教育総務課、義務教育課、教学指導課、文化財・生涯学習課】
- 産学官が連携して県全体のキャリア教育を推進する「長野県キャリア教育支援センター」において、小中学校のキャリア教育を支援する市町村プラットフォーム*の構築と取組の支援を行います。【教学指導課】
- 各学校において、教育活動や学校運営についての目標設定と評価、授業公開などを行い、保護者、地域住民、児童生徒から信頼される学校づくりを進めます。【教学指導課】